

宇宙は私の心の中にありました。宇宙は私そのものでした。私は宇宙の中において闘いを繰り広げてまいりました。星から星へと次から次へとこの手の中に私の支配の下に置こうとして闘って闘ってきました。宇宙は我のもの、この手の中にすべてを入れたい、牛耳っていきたい、破壊のエネルギー - を撒き散らしてきました。我的力を見せてやる、力、力、力がすべてだと多くのものたちを殺してきました。闘って闘って闘いの心で私の心は荒れ狂っておりました。私ははるかかなたよりその心のままでこの地球という星に辿り着いたのです。この地球は我らのもの誰にも渡さんという思いでこの地球に到着しました。宇宙を汚して汚してまいりました。私の心は苦しみだけでした。苦しくて苦しくてしかしこの闘いの心、この心から出る闘いのエネルギー - を止めることはできませんでした。でも私はまたこの心で知っています。汚しに汚してきたあの星に私は帰りたいのです。あの星は私のふるさとです。すべてを捨てて出てきたけど私はあの星に帰りたい、宇宙と思えば懐かしい思いになります。私は宇宙時代に培ってきたこの苦しい心を受け入れていかなければなりません。待っています、受け入れてくれることを待ってくれているたくさんの意識たちがいます。この肉体を通して私はそのときの意識たちとコ

ンタクトしていきます。そしてともにともに帰っていきます。宇宙時代に培ってきた心は今の私の心と同じです。田池、殺してやると叫びながら田池留吉と出会うことをずっとずっとこの心の中で待ち望んできた私の心と同じでした。宇宙と心を外に向ければ、闘いの苦しいエネルギー - しか感じられません。でも宇宙と心を中に向ければ、それはそれは懐かしい私のふるさとでした。田池留吉でした。私は田池留吉をずっとこの心で求めておりました。私の帰るところは田池留吉でした。そしてそれはマザ - の心でした。宇宙はマザ - の心でした。